

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊

OB・OG会報

第16号 (2019年9月発行)

The Newsletter of the All Saints' Choir Alumni Association, Rikkyo University

表紙
レインボー
コンサート
2019



現役聖歌隊
コンサート予定

OB・OG総会
会計報告

巻頭挨拶 100周年にあたって

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊

OB・OG会長 長田 睦子

主の平和

皆様お元気でおすごしでしょうか。

「令和」の時代を迎えたこの年に、立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊はめでたく創立100周年を迎えました。

学校HPによれば、立教は1874年(明治7年)、アメリカ聖公会の宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教により、東京築地の外国人居留地に聖書と英学を教える私塾「立教学校」として開かれたわずか数人の生徒で始まった小さな学校でした。

1907年「立教大学」と称するようになり、1918年(大正7年)池袋移転し、翌年の1919年(大正8年)5月31日、本館、礼拝堂、図書館、食堂、寄宿舎(現2号館、3号館)の落成式が盛大に開かれ、池袋キャンパスとしての歩みを開始しました。



池袋チャペルはアメリカ聖公会ニューヨーク教区の女性伝道補助会の寄付によって実現したものです。家具とオルガンは遅れて据えつけられましたが、エスティー・オルガンは故ジョン・マキム主教夫人を記念したものでした。内陣仕切りやその他の家具もニューヨークの友人たちを記念して作られており、池袋チャペルが「諸聖徒礼拝堂」と命名されたのはそのためです。

エスティー・オルガンの設置にあたっては初代聖歌隊隊長を務めたガントレット先生が大きな働きをされました。ガントレット先生は1868年イギリスのウエールズに生まれ、音楽学校に進む傍ら建築学、工学、美術なども学ばれました。20歳でアメリカにわたり、1890年来日。立教のエスティー・オルガンの他にも本郷中央教会のオルガン設置にも尽力されました。

ガントレット先生はオルガンの設置にあわせて聖歌隊も結成されましたので、聖歌隊は今年で創立100年を迎えました。

100年の間には次の6名の隊長が活躍されました。

初代	G. E. L. Gauntlett 隊長	(在職：1919～1927)
第2代	Karl Eldridge Branstad 隊長	(在職：1927-1966夏) ※活動停止 1941～1947
第3代	猿田 長春 隊長	(在職：1966夏～1995/3)
第4代	James Dawson 隊長	(在職：1995/4～2001/3)
第5代	崎山 裕子 隊長	(在職：2001/4～2002/3)
第6代	Scott Shaw 隊長	(在職：2002/4～現在)

この間、関東大震災や第2次世界大戦など「存続の危機」もありましたが、歴代隊長のご努力と聖歌隊員の奮闘、そして関係する皆様からの温かいご支援もあり、今や聖歌隊は隊員数も80名を超えるほど大きく成長しました。

OB・OGも総勢500名を超える規模になりました。ブランスタッド先生時代、猿田先生時代のいわゆる「先輩」メンバーとドーソン先生、崎山先生、ショウ先生時代のいわゆる「若手」メンバーの比率はおおよそ半々です。これからも若手メンバーが増える見込みです。若手の皆さん発起の、楽しい企画も生まれればと思っています。

今年度は現役聖歌隊が100周年を記念した演奏会などを数多く開催します。OB・OG会ではこれらの演奏会に対する寄付をして支援をしています。ぜひ皆様におかれましては演奏会にお運びくださり、共に100周年のお祝いをいたしましょう。歴代隊長にまつわるお話やレクイエム奉唱の歴史など、聖歌隊100年の資料をまとめた立教大学教会音楽研究所 紀要『RICM MUSICA SACRA』がただ今編集中とのことです。どうぞそちらの発行もお楽しみに。

6月29日（土）チャペル会館1階ロビーにてOB・OG会総会を開催しました。100周年記念のレインボーコンサート終了後の総会ということで、開催場所が手狭にはなってしまいましたが、若手OB・OGを中心に多くの方に出席いただきました。年会費の手集金では、年会費・賛助金併せて13万円が集まりました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

総会終了後は片づけの終わったチャペルに戻り、現役聖歌隊齊藤代表の挨拶や1年生の抱負を伺うひと時を持ちました。短い時間ではありましたが、コンサートを聴き、併せて交流もはかれて有意義な1日となったと思います。

総会では2018年度会計報告、役員交代、中期活動計画について報告がありました。



I. 2018年度会計報告

期間：2018年1月1日～12月31日

収入の部		支出の部	
繰越金	632,421	通信費	82,544
		印刷費	74,650
年会費・賛助金		雑費	34,532
年会費 106名	212,000	WEBサイト運営費	6,195
賛助金 54名	291,500	消耗品費	5,232
計	503,500	振込手数料	1,296
		小平霊園管理料	1,000
		小計	205,449
		繰越残高	930,472

II. 役員交代

退任役員 阿部智子さん、三野穂高さん、吉井孝幸さん
これまでのご尽力に感謝いたします。

新任役員 加藤智宏さん（2000年卒）

これからよろしくお願いいたします。



新任役員
加藤智宏さん

卒業年：2000年卒

パート：ベース

「現役時代は奉唱会マネージャーを担当しておりました」

III. 中期活動計画について

【1】財政健全化策について

皆様のご協力で繰越残高は過去最高となりました。引き続き会費納入をよろしくお願いいたします。

1. ホームページをリニューアルし、年会費のオンライン決済機能を搭載しました。
2. 年会費・賛助会費の直接集金（継続）
3. 昨年度に引き続き、卒業生へOB・OG会へのウエルカムレターと記念クッキーを配布。OB・OG会へと迎え入れました。

【2】OB・OG会主催の100周年関連行事について

1. マタイ奉唱会のとりのやめ

学生の部活動が活発化しており、学校諸施設の学生利用が増加しているため、チャペルを含む学校施設の貸し出しが学生・職員に限定されました。つきましては、正式なOB・OG会行事としての実施は取りやめることにいたしました。（ただし有志での企画実施を妨げるものではありません）

2. OB・OGの参加が特によびかけられている行事
皆様奮ってご参加ください。

2020年1月18日 聖歌フェスティバル

*100周年記念礼拝がささげられます

2020年秋 Requiem奉唱 ケルビーニ（予定）

今年度は現役100周年関連で、OB・OG会からは100周年広報チラシ作成費とレインボーコンサート並びにレクイエム奉唱に寄付を実施しています。



8月26日（日）池袋チャペルに於いて教会音楽研究所主催の「Sing It Yourself フォーレのレクイエムを一緒に歌おう」が開催されました。James Dawson先生の指導で、一日でフォーレのレクイエムを練習し、オーケストラ伴奏で披露しようという企画です。

ドーソン先生からの「OB・OGの皆さんと一緒に歌いたい！」という要請を受け、OB・OG会では

- ①メールマガジンによるOB・OGへの開催周知
- ②イベント案内郵送用の宛名ラベルの作成を行いました。

また事務局として6月に役員に就任した加藤さんが企画段階から活躍。アンサンブル・セントポールズの伴奏で100名近い合唱団が気持ち良く歌うことができました。

ドーソン先生の的確な指導によって、たった一日この日のためだけに集まったメンバーとは思えないような、ハイレベルなフォーレのレクイエムとなりました。

1950年に日本で初めてオーケストラ付のフォーレのレクイエムを歌ったのは立教聖歌隊でした。伝統ある聖歌隊の実力を垣間みることができた瞬間でもありました。練習も一日限りと言う気軽さもあり、久しぶりに参加いただいたOB・OGの方も多く見受けられました。

フォーレのレクイエムに参加して 梶ヶ谷淑子さん

「懐かしい礼拝堂で大好きなフォーレのレクイエムが歌えると知り、思い切って参加しました。練習も本番もとても楽しくて素晴らしい一日でした。ありがとうございました。」



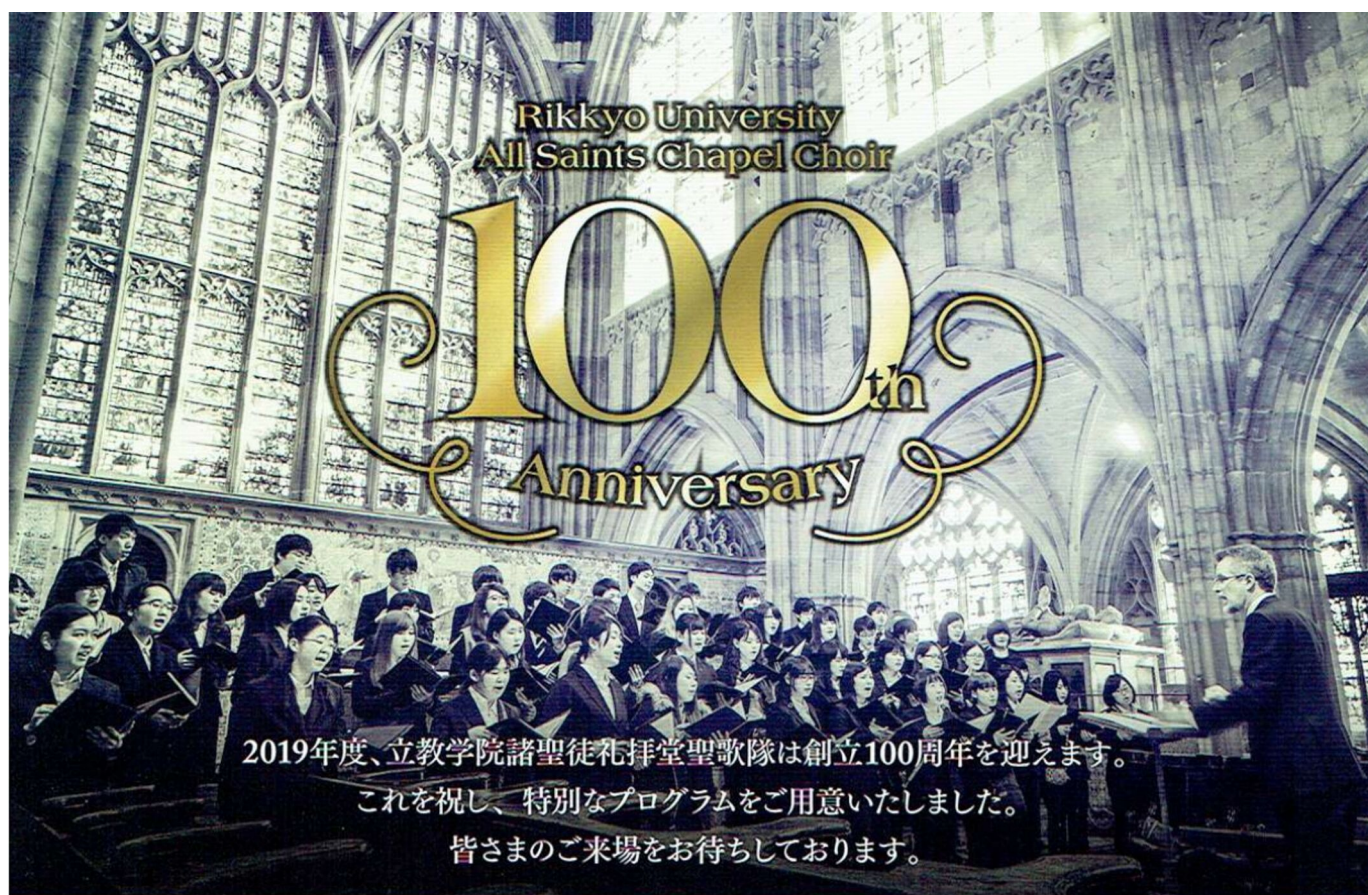
当日の流れ

- 10:00～：①初心者向けリハーサル
- 合唱（初心者向け）指導
 - 音取りや綺麗な発音を練習
- 14:00～：②全体リハーサル
- オケ、ソリストと合わせて曲を作り上げる練習
- 16:00～：コンサート開演
16:45：終演

参加者は各自の経験に応じて、①/②のリハーサルから参加しました。



当日の集合写真 池袋チャペルにて



Rikkyo University
All Saints Chapel Choir

100th Anniversary

2019年度、立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊は創立100周年を迎えます。

これを祝し、特別なプログラムをご用意いたしました。

皆さまのご来場をお待ちしております。

レインボー・コンサート

「Te Deum laudamus ~われら、汝を神と讃える~」

2019
6

29 SAT

17:00 開演

立教学院諸聖徒礼拝堂
(池袋チャペル)

3部構成で、第3部ではオーケストラと共演します。

[演奏する曲目]

H. パーセル：テ・デウム ニ長調

G. F. ヘンデル：司祭ザドク

W. A. モーツァルト：ミサ・プレヴィス K 220より《キリエ、グローリア、クレド》

C. V. スタンフォード：礼拝音楽曲集 変ロ長調 Op.10より

《マニフィカト、ヌンク・ディミッテイス》、《テ・デウム》他

レクイエム奉唱会

2019
10

26 SAT

18:00 開演

立教学院諸聖徒礼拝堂
(池袋チャペル)

聖歌隊創立100周年

記念コンサート

2019
11

23 SAT

16:00 開演

立教学院聖パウロ礼拝堂
(新座チャペル)

10月26日の第2部は坂本日菜氏による
《レクイエム》をオーケストラと共に演奏
します。

11月23日は10月26日の第1部を再演
します(レクイエムは演奏しません)。

Lessons & Carols

レッスンズ・アンド・キャロルズ

2019
12

21 SAT

18:00 開演

立教学院諸聖徒礼拝堂
(池袋チャペル)

9つの聖書日課の朗読と、
9曲のキャロルを交互に歌う、
クリスマスの礼拝です。

聖歌フェスティバル

「100年の歩み、新たな未来」

2020
1

18 SAT

16:00 開演

立教学院諸聖徒礼拝堂
(池袋チャペル)

100周年記念プロジェクトとして、
金管アンサンブルと共に聖歌を捧げる
記念礼拝です。

賛助金協力者・年会費納入者 ご芳名

○賛助金協力者ご芳名(2018年度)

・1950年代

工藤 俊雄 古谷 俊次 松野 裕 今井 和道 内藤 博子 青木 瑞恵 小川 春乃 坂本 敬(8名)

・1960年代

小野 翠 中川 直美 成田 弘子 杉山 榮一 杉山 百合子 橋本 圭子 谷 市三 高橋 委作 高橋 芙木
糟谷 愛 糟谷 證 滝口 俊子 宮谷 祥子 宮谷 仁太郎 西 章 菊池 滋子 田中 桂子(17名)

・1970年代

大西 信一 根岸 恵子 植野 さなえ 相澤 牧人 大西 礼子 荒牧 節子 村木 和行 近藤 みち子 植野 幸和
伊藤 正人 桐迫 馨代 西山 光子 伊藤 弥寿世 高橋 知代 須藤 茂 阿部 智子 長田 睦子(17名)

・1980年代

齊藤 敦子 玉野 克子 末廣 禎一郎 稲村 佳子(4名)

・1990年代

長塚 望(1名)

・2000年代

平賀 雅枝 一條 加奈 小美戸 亜希(3名)

・2010年代

南雲 香織 三谷 聡一郎(2名)

○年会費納入者ご芳名(2018年度)

・1950年代

工藤 俊雄 鶴川 馨 古谷 俊次 松野 裕子 今井 和道
内藤 博子 野田 敏子 青木 瑞恵 小川 春乃 坂本 敬(10名)

・1960年代

小野 翠 中川 直美 成田 弘子 杉山 榮一 杉山 百合子 鳥井 祥子 橋本 圭子 谷 市三 高橋 委作 高橋 芙木
糟谷 愛 糟谷 證 滝口 俊子 宮谷 祥子 宮谷 仁太郎 西 章 鶴岡 道子 菊池 滋子 田中 桂子(19名)

・1970年代

大西 信一 根岸 恵子 植野 さなえ 相澤 牧人 大西 礼子 荒牧 節子 増井 真理子 村木 和行 近藤 みち子
河野 純子 植野 幸和 須藤 恵子 伊藤 正人 渋谷 博子 徳住 光則 伊藤 勉 梶ヶ谷 淑子 桐迫 馨代
志村 純一 西山 光子 伊藤 弥寿世 高橋 知代 須藤 茂 阿部 智子 長田 睦子 田澤 利之 安田 裕子(27名)

・1980年代

齊藤 敦子 玉野 克子 藤岡 比左志 迫間 三香野 渡辺 順子 末廣 禎一郎 須田 実花 堀 英樹 紅林 東史子
稲村 佳子 内田 幸子 大野 清太(12名)

・1990年代

鍋島 博美 汲原 早希 内藤 香苗 松岡 恵子 長塚 望 古谷 秀子(6名)

・2000年代

平賀 雅枝 山崎 愛子 一條 加奈 遠藤 陽平 遠藤 麻美 大森 文恵 小林 留衣 小美戸 亜希 清水 緑
木村 公優 貫井 萌香 日置 春海(12名)

・2010年代

鈴木 裕子 金指 もと子 南雲 香織 磯部 佳奈子 長谷川 俊 鈴木 麻由 前田 慶 三谷 聡一郎 吉元 彬乃
池山 由希子 朝野 理南子 井上 知尚 浦本 康平 大木 祥子 岡嶋 綾子 岡野 一広 田中 鈴子 中村 星介(18名)

年会費のお支払いはPayPalが便利です!



クレジットカードによる年会費のお支払いに対応いたしました。聖歌隊OB・OG会HPより手続きが可能です。

◀ QRコードで簡単アクセス!

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会報第16号

【表紙写真】増田匠吾

【発行日】2019年9月28日

【発行元】立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会事務局
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

立教大学ロイドホール5F スコット・ショウ研究室